

## バックアップソフトの選び方

重要度	項目
<b>実績</b>	
<b>高</b>	実績のあるバックアップベンダーに絞り込む
	お客様への導入実績があること
	日本法人または日本でのビジネス年数が長いこと
<b>中</b>	導入前の検討材料(情報)が豊富なベンダーをピックアップする
	導入経路となる契約販売代理店情報が豊富であること
	製品自体の機能や具や胃的な運用に関する情報が豊富であること
<b>高</b>	簡単に導入と運用管理ができること
<b>高</b>	迅速に復旧できること
	迅速な復旧のために充実した手順書が容易されていること
	簡単リストアと短時間の復旧ができること

## ニーズに応えた機能が豊富にあること

<b>高</b>	バックアップ時間を短縮できる機能がある
	イメージバックアップ機能
	継続増分バックアップ機能
<b>高</b>	バックアップデータの肥大化を抑止する機能がある
	継続増分バックアップ機能
	重複排除機能
	圧縮機能
<b>中</b>	さまざまな環境のバックアップを一元管理ができる
	物理サーバー
	仮想サーバー
	クライアントPC
	クラウドサーバー
	Windows
	Linux
<b>中</b>	クラウドサーバーのバックアップやクラウド移行ができる

## 災害対策ができる

<b>高</b>	遠隔地へバックアップデータの転送ができる
<b>高</b>	事業継続ができる

ランサムウェア対策ができる	
高	多くの世代を保存できる (感染から発症までの期間を考慮する)
	増分バックアップ機能
	重複排除機能
	圧縮機能
高	バックアップ環境の保全を行うことができる
	バックアップ専用サーバーでアクセス制限ができる
	エクスプローラーなどから見えない領域にバックアップデータを保管できる
	他要素認証が利用できる
	バックアップ専用 LANを設定できる
高	オフライン保管ができる (バックアップ3-2-1ルールを満たす)
	バックアップデータの複製ができる
	テープ保管ができる
	クラウドへ転送できる
	イミュータブルストレージをバックアップ先として利用できる
	オブジェクト ロック対応ストレージをバックアップ先として利用できる
高	健全なデータ時点(復旧ポイント) のバックアップの調査/利用ができる

※ 重要度は、ご利用の環境や業務内容に応じてIT重要度は異なります。  
 自社に必要な項目ご検討の上、「重要度」を最終決定してください。

2023年2月時点